

京都歴史教育者協議会4月例会(4/30)のご案内

京都歴史教育者協議会は京都などの社会科教師で結成している自主的な学習サークルです。以下のような学習会を企画しました。みなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

報告「人間のドラマを通じて印象に残る地理学習の試み」&同志社中高校舎見学会

京都歴史教育者協議会

【連絡先】〒611-0031 宇治市広野町八軒屋谷 33-1 立命館宇治高校気付 森口 等
☎0774-41-3000 FAX☎0774-41-3555 メール moriguti@ujc.ritsume.ac.jp

【テーマ】

「人間のドラマを通じて印象に残る地理学習の試み」

～全国大会レポート事前検討会

【報告者】 後藤 貴三恵さん(同志社高校)

【日時】 4/30(土) 15:00～17:30(予定)

15:00～15:40 同志社中高 校舎見学会

15:50～17:30 4月例会

【場所】 同志社中学校・高等学校

恵潤館3階 会議室5 集合

京都市左京区岩倉大鷲町89

(地下鉄「国際会館」駅 2番出口よりすぐ
グラウンドとテニスコートの間の通路を北上し、2つ目の校舎)

後藤携帯 090 - 6988 - 9249

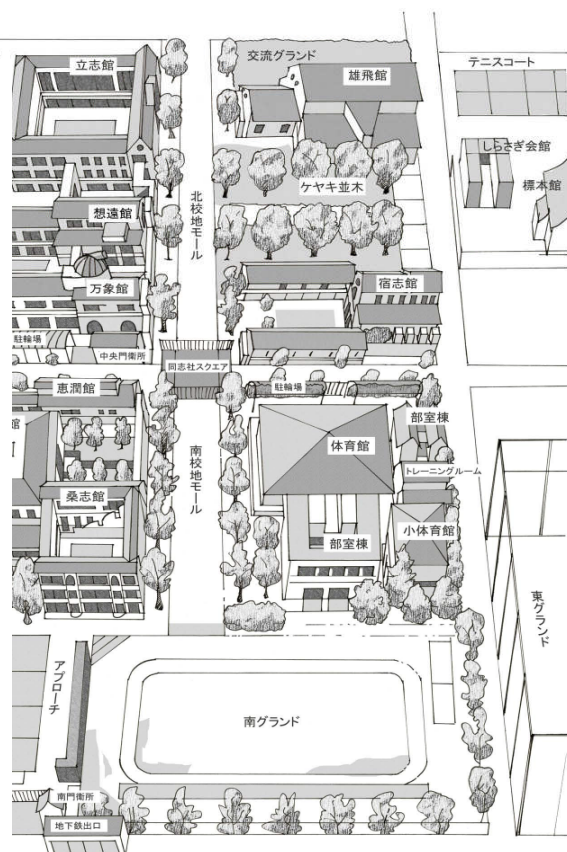
*できるだけ公共交通機関でお越しください!

お車でお越しの方は、あらかじめ後藤

(携帯またはkgoto@js.doshisha.ac.jp)まで

ご連絡ください。(駐車許可証が必要となるため)

また、参加予定者は、校舎見学の都合上、できるだけ上記メールに、参加の申し込みをよろしく。



【報告要旨】

地理は覚えることばかり、カタカナの地名もいっばいで難しいと思われていることが多いようです。地名の由来や地名の覚え方のコツを知れば、興味もわいてきます。

また、人間の顔が見えにくいため、人間のドラマが感じられなくて、どうも地理には興味が持てないと思っている生徒も多いように感じます。その地域の現在の状態を作り出したのは、そこに住んできた人々であり、現在住んでいる人々そのものなのです。そこには支配・被支配の状態を反映していることもあります。歴史の授業では、人物が登場することは当たり前ですが、地理の授業でも人物が登場する場面があってもいいはず。残念ながら、地理の教科書にはほとんど人物は登場しません。

その国、その地域の土地に刻まれた歴史的な背景を知り、その時代にその地域で生き、あるときには命をかけてたたかってきた人々が登場することで、その地域が人間のドラマを通じて印象に残るものになるのではないかと感じています。

【お詫びとお知らせ】

4月例会は、後藤誠司さんの報告を構想していましたが、後藤誠司さんの報告「世界史の新しい学び方」は、5月28(土)の5月例会に変更します。5月例会は、その他にもう1本の報告を考えています。